

エイチ・エス 銘柄レポート

エコモット株式会社

「IoT インテグレーション事業」

コード番号：3987 主要上場市場：札証アンビシャス市場

- IoT ソリューションの企画及びこれに付随する端末製造、通信インフラ
- アプリケーション開発
- クラウドサービスの運用・保守に関する業務

事業の内容	IoT インテグレーション事業 (IoT ソリューションの企画及びこれに付随する端末製造、通信インフラ、アプリケーション開発並びにクラウドサービスの運用・保守に関する業務)
市場区分	札証アンビシャス
代表者の役職氏名	代表取締役社長 入澤 拓也
1 単元の株式数	100 株

当社は、「IoT インテグレーション事業」を展開している。IoT とは、Internet of Things の略で、「モノのインターネット化」と訳される。

コンピューターなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットへの接続や相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行う。当社は、IoT ソリューションの企画及びこれに付随する端末製造、通信インフラ、アプリケーション開発並びにクラウドサービスの運用・保守に関する業務をワンストップで提供する事業を展開している。

◎最近の業績動向

決算年月	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当り 純利益(円)	1株当り 純資産(円)
平24.3月期	351	-20	-17	-47.37	166.83
平25.3月期	517	13	7	12.81	179.64
平26.3月期	592	58	35	58.41	238.06
平27.3月期	685	49	35	58.42	296.48
平28.3月期	738	11	6	10.80	307.29

(*) 上場時発行済株式数622,000株 (予定)

(会社資料より)

(*) 平成27年2月1日付で1株を10株に分割を実施。

(*) 平成29年2月11日付で1株を200株に分割を実施。1株当たりの数値は分割修正後の数値。

◎事業の内容

当社は、IoT インテグレーション事業の単一セグメントで、下表の二つの位置づけのもと 4 つのソリューションを提供している。

事業セグメント	ソリューションの位置づけ	ソリューション	プラットフォーム/ 主なパッケージサービス
IoT インテグレーション事業	IoTプラットフォームをベースとしたSIIによるソリューション	インテグレーションソリューション	IoTプラットフォーム「FASTIO」
		モニタリングソリューション	融雪システム遠隔監視ソリューション「ゆりもつと」
	パッケージサービスを中心としたソリューション	コンストラクションソリューション	建設情報化施工支援ソリューション「現場ロイド」
		GPSソリューション	交通事故削減ソリューション「Pdrive」

出所：会社資料より HS 証券作成

①. IoTプラットフォームをベースとしたSIIによるソリューション

当社のインテグレーションソリューションは、独自の IoT プラットフォーム（注1）「FASTIO」を基盤として提供している。

FI

FASTIO

■FI(FASTIO)

「FASTIO」は、IoT 運用による大量に発生するセンサーデータをリアルタイムかつ効率的に扱うための各種機能を実装している。

また、クラウド提供であることから、通信インフラやクライアントソフトのインストールが不要であり、短期間で、安価に IoT サービスを利用することが可能となる。

IoT の導入はセンサーやゲートウェイ（注2）端末選定が重要となるが、当社のアライアンスプログラム「FASTIO LINK」及び「FASTIO DATALINK」により多様なデバイスからのデータ取り込みが可能となる。

「FASTIO」は、「物理現象を電気信号としてクラウドに取り込む」コストを最小化することにより、デバイスメーカー等へのインテグレーションソリューションを提供している。

「FASTIO」は、標準アプリケーションで画像・動画管理、遠隔接点制御、位置情報管理等に対応しており、様々な産業、市場において利用が可能となっている。

また、複雑な分析やBIツール（注3）、マシンラーニング等の先進分野における外部クラウドサービスとの連携を前提として設計されており、センシングデータを外部クラウドサービスで利用するためのAPI（注4）を充実させているため、外部クラウドサービスへシームレスなデータ提供が可能となっており、クラウドベンダーに対してもインテグレーションソリューションの提供を行っている。

インテグレーションソリューションは、「物理現象を電気信号としてクラウドに取り込み、外部クラウドサービスへ渡す」までを首尾一貫して提供するサービス。

なお、平成28年4月にKDDI株式会社「KDDI IoTクラウド Standard」のベースシステムとして「FASTIO」が採用されている。同サービスは「FASTIO」に専用のカスタマイズを施し提供しているものであり、当社が培ってきた技術・ノウハウが活用されている。

②. パッケージサービスを中心としたソリューション

創業以来、IoT インテグレーション事業を行っている。その中で、特定の市場や端末、機能等を選定し、パッケージ化することで、運用コストを低減するとともに、ニッチやマーケットでの実績を積み重ねてきた。AIの活用により、さらなる運用コストの低減や新たな付加価値の創出を行っている。具体的なサービスは次のとおり。

YR

ゆりもつと ■ モニタリングソリューション

マンションや商業施設等に対して、融雪・消雪装置の監視ソリューションを提供。融雪装置の遠隔監視により稼働を可視化するとともに、リモートオペレーションによって運転の最適化を実現し、燃料コストや環境負荷を低減させる。「ゆりもつと」は融雪装置自体の予防保全を可能とし、融雪装置の利用にあたっての安全性、信頼性を高める。

主に分譲マンションの管理組合、賃貸マンション・アパートのオーナー、大規模駐車場を有する小売事業者などに利用されている。「ゆりもつと」のシステムは、クラウドサーバー上で構築されており、季節に応じたサーバーリソースの割り当てをマネジメントすることで、インフラコストの最適化を図っている。

監視作業効率の向上、監視品質の均質化のため、AIによる融雪監視機構を開発。センサーを使った現地での降雪状況やカメラ画像のほか、1kmメッシュの気象予報情報を組み合わせて現地の積雪状況を推定し、適切な融雪装置の制御判断材料を提供している。さらに、オペレーターの操作をAIへフィードバックし、学習させることで、AI判断精度の向上を図っている。

GR

現場ロイド ■ コンストラクションソリューション

建設現場、構築物の維持管理及び防災等の「安全管理」「省力化による生産性向上」「リアルタイム計測による作業精度向上」などを目的とした総合情報化ソリューションを提供。

「現場ロイド」はモバイルワイヤレス技術を使って、センサーによる常時警戒により、異常を検知してからの迅速な警告発報を行い、現場管理や作業を効率化し、トラブルを未然に防ぐことを可能としている。

「現場ロイド」においては、屋外におけるサービス提供を主としており、独立電源による電力供給、モバイルネットワークによるデータ計測、遠隔監視及び遠隔制御等の多様な環境下における運用実績を有している。

AI技術を活用し、センシングデータから未来予測をする取り組みを行っている。インテリジェント電光掲示板「サインロイド2」では、気象情報提供会社と協業し、局地的なセンシング気象データと気象予報情報を組み合わせ、工程管理および安全管理に寄与する情報提供を実現している。

Pd

Pdrive ■ GPS ソリューション

GPS ソリューション「Pdrive」は、主に社有車を保有する事業者向けに、危険運転時のリアルタイム動画を提供し、運転状況を「見える化」することで、交通事故削減を図ることに強みを持つカーテレマティクス（注5）サービスを提供。「Pdrive」は加速度センサーが急ブレーキや急ハンドルといった交通事故の兆候（ヒヤリハット）である危険運転を感知すると、搭載するモバイル通信端末を介し、車載カメラの動画をクラウドへ保存し、安全管理者にメールを配信する機能が特徴。この動画配信機能によりヒヤリハットを「見える化」することで、交通事故削減並びに自動車保険料の低減に貢献している。

用語説明

(注 1) IoT プラットフォーム : IoT を実現するためのプラットフォームのこと。一般的な IoT のフローでは、データの発生源であるセンサーから計測データが発信され、当該計測データを加工・分析した結果をトリガーとして、現地のデバイス (アクチュエーター) に対して何らかのアクションを起こす。この一連の処理を実現するソフトウェアならびにインフラを、IoT プラットフォームと呼ぶ。現在では広く解釈されており、データの収集や蓄積に特化したものや、データ解析に特化したもの、モバイル通信サービスに特化したもの等も IoT プラットフォームと総称される。

(注 2) ゲートウェイ : ゲートウェイとは、異なるネットワーク同士を接続するネットワーク関連機器及びソフトウェアの総称。

(注 3) BI ツール : Business Intelligence ツールの略。企業の業務システムの一つで、膨大なデータを蓄積・分析・加工し、意思決定に活用できるような形式にまとめるもの。昨今は、情報の収集や成型といった入り口側の機能を簡略化し、美しく直感的なアウトプットに特化したものが注目されている。

(注 4) API : Application Programming Interface の略。あるコンピュータープログラム (ソフトウェア) の機能や管理するデータなどを、外部の他のプログラムから呼び出して利用するためのもの。API の活用により、開発者は、自身が開発するソフトウェアに API で提供される機能を容易に組み込むことが可能になる。

(注 5) カーテレマティクス : カーテレマティクスとは、カー (Car=自動車) とテレコミュニケーション (Telecommunication=遠隔通信) 及びインフォマティクス (Informatics=情報学・情報処理) から作られた造語で、移動体通信を用いて自動車や輸送車両等に対して提供するサービスの総称。

【ご投資にあたって】

本レポートの記載の内容を参考にして国内金融商品取引所に上場する株式（売買単位未満を除く）を営業店でお取引をされる場合、約定代金に対して最大 1.0476%（税抜）（ただし約定代金の 1.0476%に相当する額が 3,000 円に満たない場合は 3,000 円（税抜）。手数料率等は取引チャネルにより異なります。）の委託手数料をご負担いただきます。

また、株式相場、金利水準、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び有価証券の発行者の信用状況（財務・経営状況含む）の悪化等、それらに関する外部評価の変化等により損失が生じるおそれ（元本欠損リスク）があります。信用取引などを行う場合には、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がおお客様の差し入れた委託保証金などの額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。なお、商品毎に手数料及びリスク等は異なりますので、当該商品の目論見書及び契約締結前交付書面をよくお読みください。

【免責事項】

■本レポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されたものですが、エイチ・エス証券はその正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。

■本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、エイチ・エス証券は、理由の如何を問わず責任を負いません。

■本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の銘柄等の勧誘、売買の推奨または相場動向の保証等を行なうものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、本資料をお客様ご自身のためのみ、お客様の限りでご利用ください。なお、当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

【利益相反情報について】

■当社および関係会社又はその役職員は、本資料に記載された証券についてポジションを保有している場合があります。また、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他のサービス提供の勧誘を行なう場合があります。

■当社の役員（会社法に規定する取締役、監査役又はこれに準ずる者をいう。）が、以下の会社の役員を兼務しております。

：澤田ホールディングス、エイチ・アイ・エス、クリーク・アンド・リバー社

(商号等) エイチ・エス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 35 号

(加入協会) 日本証券業協会